

農林水産業のステージアップ

福井県の主力産業の一つであり、皆さん的生活に密接な関わりを持つ農林水産業。さらなる飛躍や活性化を目指そうと、県では、品質向上や、生産、消費の拡大策を進めています。

福井米の品質を向上

「コシヒカリのふるさと」福井県において、米は農業産出額の7割を占める主力品目です。この福井米の品質を向上させ、ブランド力を高めようとして、県では、「おいしく、環境にやさしい福井米づくり」運動を進めています。

この一環として、田植えを5月中旬以降に遅らせる「5月半ばの適期田植え」を展開しています。8月初旬の高温期を避けて稻を出穂させることで、大粒で品質の高さを実現しています。また、食の安全・安心への消費者の関心に応えるため、化学肥料や農薬を通常より減らすエコファーマー化を推進。昨年度末時点の認定農家数は、日本一です。

このほか、タンパク質含有量に基づき食味を検査し、品質ごとに区分して集荷、販売する体制を整備。食味への農家の意識を高め、福井米全体をレベルアップします。

加えて、今年は、有機栽培米や特別栽培米を、福井のこだわり米として登録する制度を新設。ロゴマークを使用する「にっぽんのふるさと福井」が、11月に商標登録されました。40種のこだわり米に、統一のロゴマークを付けて、首都圏などでのPR、販売を強化していきます。

さらに、農業試験場では、コシヒカリを超える「ポストコシヒカリ」を開発に向けた研究も推進。20万種の稻の中から、遺伝子(DNA)分析技術などを活用して、「おいしい」、「つくりやすい」、「環

境にやさしい」の3つの特長をあわせ持つ、極めて優良な品種を選び抜きます。平成29年度までに新品種として登録出願することで、「米どころ福井」のさらなる発展につなげます。



福井のこだわり米の統一ロゴマーク

問 水田農業経営課

☎ 0776-20-0429

園芸生産の拡大

本県における果樹や野菜などの園芸品目の産出額は120億円(平成22年度)です。これを、平成26年度に150億円まで拡大しようと、県では、園芸振興策にも力を入れています。

高いニーズがありながら、これまで県内ではあまり栽培されてこなかつたブドウづくりを促進。嶺北の砂丘地

産材を利用する場合に支援を行うなど、県産材の活用推進を通じて、福井の林業のさらなる活性化を目指しています。

問 県産材活用課

☎ 0776-20-0448

問 園芸畜産課

☎ 0776-20-0432

境にやさしい」の3つの特長をあわせ持つ、極めて優良な品種を選び抜きます。平成29年度までに新品種として登録出願することで、「米どころ福井」のさらなる発展につなげます。

また、嶺南一円では、年間もの産地を増やしています。

を通してミディトマト「越のルビー」を栽培する、エコ園芸団地の設置を進めています。今年度は高浜町に、二酸化炭素排出量の少ないヒートポンプ空調を備えたハウスを整備。嶺南の新たな特産品化を目指します。

このほか、サトイモやラッキョウなど特産品目の生産拡大、企業的園芸経営を目指す農業生産法人等を支援。水田を活用した野菜の栽培や、各地の直売所を核とした地産地消も推進するなど、園芸全体の生産、消費を拡大しています。

問 水田農業経営課

☎ 0776-20-0429



県内すべての中学生3年生にセイコガニ給食を提供

地魚の消費を拡大

県水産会館1階に「ふくいの地魚情報館」を設け、福井の旬の地魚の情報発信を強化しているほか、その周辺で、5月から11月まで毎週金曜日に「旬の地魚テント市」を開催。また、福井市中央卸売市場の「近海今朝獲れ市」の取扱量も増やすなど、新鮮な地魚の販売ルートを増やしています。

加えて、子ども向けの魚さばき講座や、水産加工品の販売や地魚大テント市、新そ

シピ公募なども行い、地魚の購入意欲を高め、魚食普及を進めています。

また、小中学校での「味覚の授業」や、妊婦等を対象とした食事講座「マタニティお腹すくすぐレストラン」など、食育活動を集中的に展開しました。

さらに、メインイベントとして、11月17日と18日に、県産業会館(福井市)で「ふくい味の祭典」も開催。120以上の団体による農林水産物販売や地魚大テント市、新そ



食の魅力たっぷりで大盛況だった「ふくい味の週間」

「ふくい味の週間」

地元の食を「学び、味わい、楽しむ」活動を、自治体として初めて行い、県内外に福井の食の魅力を改めて知つてもらおうと、今年から新たに、11月の第2日曜日から第3日曜日までを「ふくい味の週間」と定めました。

期間中には、県内の飲食店、直売所など約280店舗で、「ふくい健幸美食」やオリジナル地産地消メニューの提供、地場産品の特売など、協賛イベントを開催しました。

また、小中学校での「味覚の授業」や、妊婦等を対象とした食事講座「マタニティお腹すくすぐレストラン」など、食育活動を集中的に展開しました。

越前がにや、若狭ふぐ、奥越の里いも、越のルビー、炊きたてのコシヒカリなど、福井はおいしい食に恵まれています。さらに良い味を追求して、ポストコシヒカリの開発など品質向上に取り組むとともに、生活の糧となる産業として、販路拡大や高付加価値化を進めています。

11月の「ふくい味の週間」では、県内外の大勢の方に旬の味覚を満喫いただきましたが、福井の食のすばらしさをもっと全国に知ってもらい、訪れてもらいたいと思います。今後も、福井の生活の豊かさを支える農林水産業の、さらなるレベルアップを目指していきたいと考えています。



食の魅力たっぷりで大盛況だった「ふくい味の週間」

県産材の活用を推進

また、良質な天然乾燥材を「ふくいブランド材」として、付加価値を高め、住宅分野への供給を増やしています。

また、県産材の生産を拡大していくため、主伐や間伐を行う「コミュニケーション材」を推進。計画的に県産材の生産を拡大していきます。

加工に必要な機器の導入や商品開発を支援しているほか、新たに配置したコーディネーター等が、企画から販売までを総合的にサポート。商談会も開催するなど、ハード、ソフトの両面で支援し、生産物の高付加価値化、生産者の所得向上を目指しています。

6次産業化を応援

農林漁業者が、生産(1次産業)だけでなく、加工(2次産業)、流通・販売(3次産業)までを総合的に行う、いわゆる「6次産業化」も推進しています。

加工に必要な機器の導入や商品開発を支援しているほか、新たに配置したコーディネーター等が、企画から販売までを総合的にサポート。商談会も開催するなど、

ハード、ソフトの両面で支援し、生産物の高付加価値化、生産者の所得向上を目指しています。



食の魅力たっぷりで大盛況だった「ふくい味の週間」

問 水産課

☎ 0776-20-0435

本県産コシヒカリの1等米比率は、全国平均より14.0%イント高い90パー

セントとなり、北陸4県で最高となるなど、大きな成果を挙げました。

また、食の安全・安心への消費者の関心に応えるため、化学肥料や農薬を通常より減らすエコファーマー化を推進。昨年度末時点の認定農家数は、日本一です。

このほか、タンパク質含有量に基づき食味を検査し、品質ごとに区分して集荷、販売する体制を整備。食味への農家の意識を高め、福井米全體をレベルアップします。

加えて、今年は、有機栽培米や特別栽培米を、福井のこだわり米として登録する制度を新設。ロゴマークを使用する「にっぽんのふるさと福井」が、11月に商標登録されました。

さらに、農業試験場では、コシヒカリを超える「ポストコシヒカリ」を開発に向けた研究も推進。20万種の稻の中から、遺伝子(DNA)分析技術などを活用して、「おいしい」、「つくりやすい」、「環

境にやさしい」の3つの特長をあわせ持つ、極めて優良な品種を選び抜きます。平成29年度までに新品種として登録出願することで、「米どころ福井」のさらなる発展につなげます。

また、嶺南一円では、年間の産地を増やしています。

を通してミディトマト「越のルビー」を栽培する、エコ園芸団地の設置を進めています。今年度は高浜町に、二酸化炭素排出量の少ないヒートポンプ空調を備えたハウスを整備。嶺南の新たな特産品化を目指します。

このほか、サトイモやラッキョウなど特産品目の生産拡大、企業的園芸経営を目指す農業生産法人等を支援。水田を活用した野菜の栽培や、各地の直売所を核とした地産地消も推進するなど、園芸全体の生産、消費を拡大しています。

また、嶺南一円では、年間の産地を増やしています。

園芸畜産課

☎ 0776-20-0429

このほか、住宅や店舗で県産材を利用する場合に支援を行なうなど、県産材の活用推進を通じて、福井の林業のさらなる活性化を目指しています。

また、県産材の生産を拡大していくため、主伐や間伐を行う「コミュニケーション材」を推進。計画的に県産材の生産を拡大していきます。

加工に必要な機器の導入や商品開発を支援しているほか、新たに配置したコーディネーター等が、企画から販売までを総合的にサポート。商談会も開催するなど、

ハード、ソフトの両面で支援し、生産物の高付加価値化、生産者の所得向上を目指しています。

また、良質な天然乾燥材を「ふくいブランド材」として、付加価値を高め、住宅分野への供給を増やしています。

また、県産材の生産を拡大していくため、主伐や間伐を行う「コミュニケーション材」を推進。計画的に県産材の生産を拡大していきます。

加工に必要な機器の導入や商品開発を支援しているほか、新たに配置したコーディネーター等が、企画から販売までを総合的にサポート。商談会も開催するなど、

ハード、ソフトの両面で支援し、生産物の高付加価値化、生産者の所得向上を目指しています。

また、良質な天然乾燥材を「ふくいブランド材」として、付加価値を高め、住宅分野への供給を増やしています。

このほか、住宅や店舗で県産材を利用する場合に支援を行なうなど、県産材の活用推進を通じて、福井の林業のさらなる活性化を目指しています。

また、県産材の生産を拡大していくため、主伐や間伐を行う「コミュニケーション材」を推進。計画的に県産材の生産を拡大していきます。